



(参考仮訳)

プレスリリース No. 11/301
即時解禁
2011年8月2日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

米国の債務上限の引き上げ法成立に関する、IMF の声明

本日、米国の債務上限の引き上げ及び歳出削減法が成立したことを受け、国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は以下の声明を発表した。

「我々は、米国政府の債務上限の引き上げ及び赤字削減法の成立を歓迎する。市場の主な不透明要因の改善並びに米国の財政への信認の強化という観点から、この度の決定は、米国・世界経済の双方に大きな意味を持つ。

債務上限の引き上げにより経済の混乱という深刻な事態は回避されたが、赤字削減に関する取り決めも伴っており、財政再建に向けた画期的な一歩だと言える。経済回復が依然として脆弱であることを踏まえ、歳出削減は、成長の足かせとならぬよう、適切なペースで段階的に実施されることになる。

今後の政策立案者の課題は、中期的な債務及び赤字目標を明確に示した再建枠組みの策定である。国家財政を持続可能な軌道に乗せるにあたり、給付金支出の一層の抑制並びに新たな財源の特定が必要となろう」